

= 業界情報 =

騒音計の検定について(指定工場の皆様へ)

本年度の標記検定は、次により実施されます。

指定整備工場においては、騒音計有効期間(前回検定から5年間)を確認され、該当する場合は、必ず検定を受けられますよう、お知らせいたします。

検定の有効期限を越えての指定整備は行えませんのでご注意下さい。

なお、当社は検定のための預かりは出来ませんので、ご了承よろしくお願いします。

1. 日 時 5月25日(水)9:30~15:00
(受付 9:30~14:00)
2. 場 所 (一社)山梨県自動車整備振興会 実習場
3. 実施者 (一財)日本品質保証機構 計量計測センター
TEL 042-679-0147
4. 検定料 18,300円

騒音計の裏側



全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.124

【内容】大阪のディーラーは技術力が低い

・車名：乗用車 ・登録年月：平成17年 ・走行距離：1. 3万km

昨年5月に大阪のディーラーで12か月法定点検を受けたが、今年2月、駐車場にブレーキの部品が脱落しているのに気付き、修理のため入庫した。ブレーキ回りで複数の部品を交換する必要があると言われ、27万円の修理見積りについて説明があり、承諾して作業は終えたが、法定点検で予見できなかったのかディーラーに問い合わせたが、納得のゆく説明はなかった。

さらに今年5月、車検のためディーラーに行き、リフトアップして確認・概算見積りをもらうと11万円と言われ入庫したが、その後、「車検に通らない不具合が新たに見つかり、追加でこの部品を交換すると総額は17万円となる」と連絡があり、しぶしぶ承諾した。

相談者は他県在住で、普段の整備は全て地元のディーラーに頼んでおり、これまで整備後にトラブルに見舞われたことはなかったとのこと。どのディーラーも技術水準は同じだと思っていたが、大阪のディーラーは技術力が低く、入庫したことを後悔している。結果報告はいらないので、そのディーラーに業務改善するように指導してほしい。

【対応】

大阪のディーラーに事実確認すると、「昨年5月の法定点検時のパッド残は前後とも5mmであったが、今年2月に入庫した時は、左フロントキャリパが完全に固着していた。脱落したパッドは左フロントのもので、パッド残が完全になくなり、バックプレートが削れてキャリパの隙間から脱落したようである。鉄粉でホイールやキャリパ等も錆びていたので、相談者の要望で、左右フロントキャリパASSY、リヤのインナーキット、パッド及びブレーキホースの全数、左フロントのハブベアリングとロータを交換した。5月の車検の時は、作業中にABSチェックランプが点灯し、右フロントの車速センサーの不具合が判明したので、追加で交換した。相談者は、『今後も入庫したい』と言っており、次の車検までのメンテナンスパック（エンジンオイル交換付き）に加入、当初の見積り金額より少し高くなつたが、都度連絡をとり全て承諾いただいている」とのこと。相談者が不満を感じて相談してきたことを伝えたところ、「オイル交換時にお話をさせていただく」という回答を得たので、電話を切った。

令和4年度

マイカ一点検キャンペーン・スローガンの決定について

標記キャンペーン・スローガンの募集につきましては、全国から 15,302 通の応募があり、選考委員会を開催して厳正なる審査を行った結果、下記のスローガンが令和4年度のキャンペーン・スローガンとして決定した旨、通知がありましたのでお知らせします。

《スローガン》

『気づけるよ 気づかないこと マイカ一点検』

いすゞ大型トラック・ギガ、中型トラック・フォワード プロペラシャフトのグリース給脂および点検方法について いすゞ自動車株式会社

いすゞ大型トラック・ギガ、中型トラック・フォワードにて、プロペラシャフトのユニバーサルジョイント部やセンターべアリング部へのグリースの給脂不足により、プロペラシャフト脱落に至った事例が報告されております。

つきましては、適切な整備を実施いただくために、プロペラシャフトのグリース給脂および点検方法をお知らせいたします。また、フランジのロックナットの緩み点検方法もあわせてお知らせいたします。

一記一

1. 対象車両

いすゞ大型トラック・ギガ、中型トラック・フォワード

2. 故障事例

09年式の中型トラック・フォワードFRR90型車にて、プロペラシャフトのセンターべアリング部へのグリースの給脂不足により、センターべアリングの内輪が連れ回ったことでフランジの端面が摩耗して軸力が抜け、フランジが振れてロックナットのカシメ部が摩耗して緩んだことで、プロペラシャフトの脱落に至った事例が報告されました。

3. プロペラシャフトの給脂および点検方法について

3-1. プロペラシャフトのグリース給脂について

- 各部位のグリース給脂インターバルは、以下の通りです。

グリース給脂部位	インターバル
ユニバーサルジョイント部 スプライン部	5,000 km毎
センターべアリング部	50,000 km毎

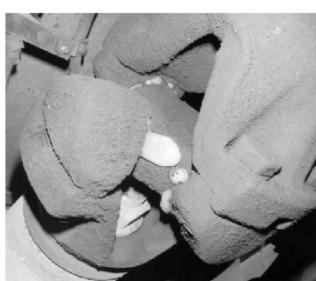
- グリースは、ベスコ グリース L3・L2、もしくはベスコ AS グリース L3・L2をご使用ください。

※チューブ部にグリースニップルがないプロペラシャフト（ギガトラクタ用の一部車型に採用）のユニバーサルジョイント部には、ベスコ グリース L2、ベスコ AS グリース L2をご使用ください。

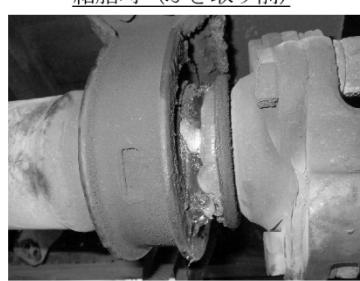
※ベアリングの焼付きにより重大な不具合につながりますので、シャシグリース等の他の種類のグリースは絶対に使用しないでください。

- 次頁の「3-2. 給脂箇所について」に示す部位に確実に給脂してください。
- ユニバーサルジョイント部およびセンターべアリング部への給脂は、ニードルベアリングのオイルシール部から新しいグリースがはみ出すまで十分に給脂してください。給脂後は、はみ出したグリースをふき取ってください。

給脂時（ふき取り前）



ユニバーサルジョイント部



センターべアリング部

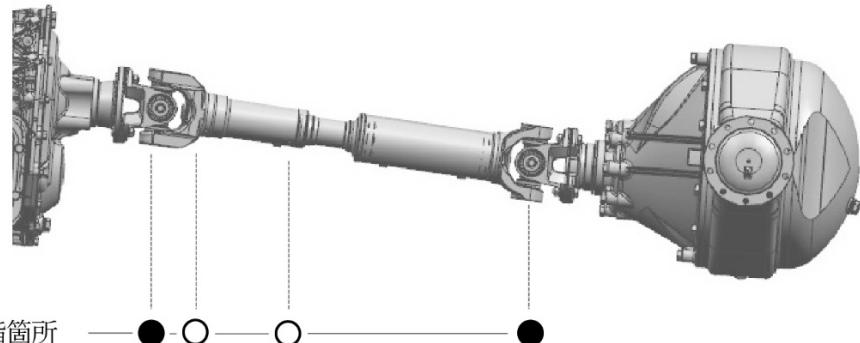


スプライン部

3-2. グリース給脂箇所について

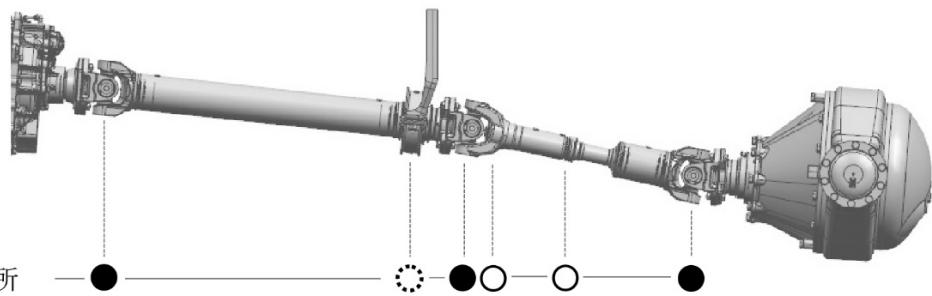
- … ユニバーサルジョイント部
- … スプライン部（車型により部位/箇所が異なります）
- ◎ … センターベアリング部

プロペラシャフト 1本

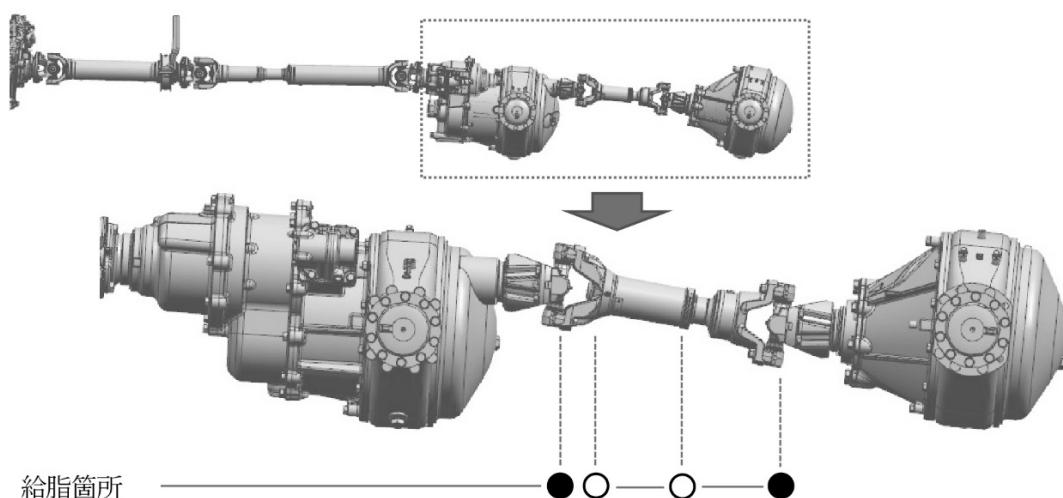


給脂箇所 — ● — ○ — ○ — ● —

プロペラシャフト 2 本以上

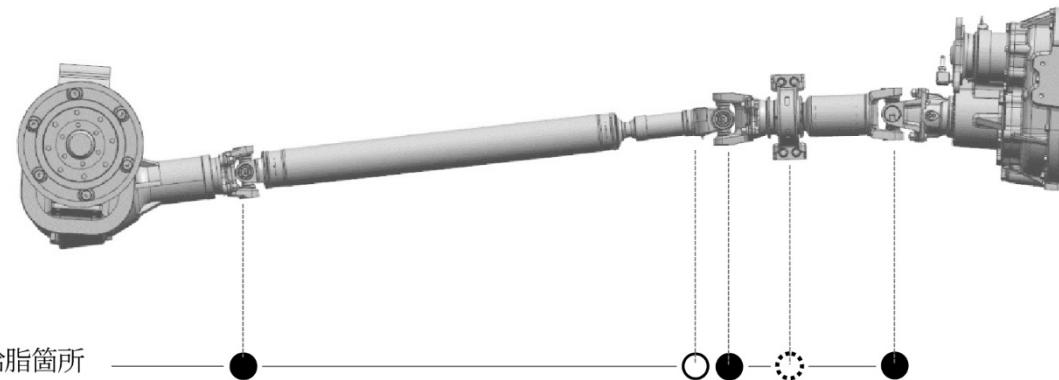


アクスル間プロペラシャフト



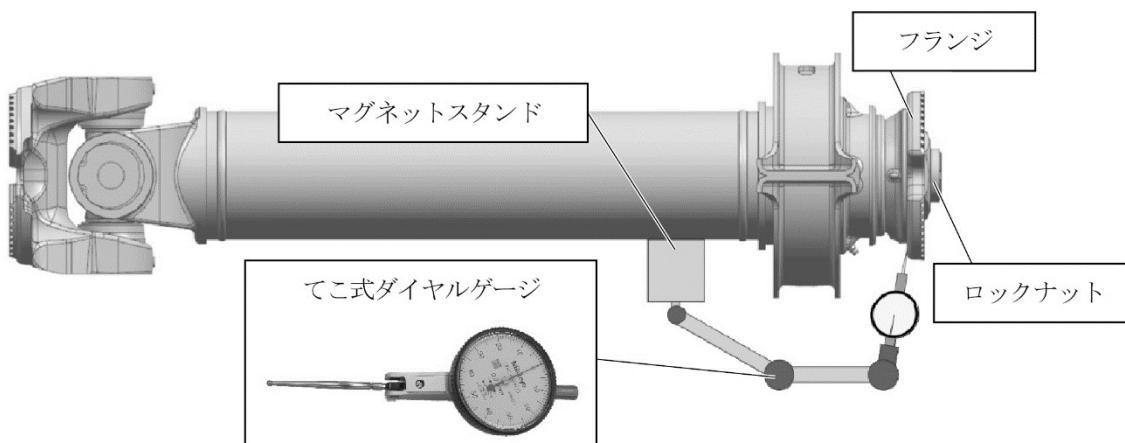
給脂箇所 — ● — ○ — ○ — ● —

フロント側プロペラシャフト（全駆車）



4. フランジのロックナットの緩み点検方法について

- 下図のように、てこ式ダイヤルゲージをマグネットスタンドで固定し、フランジを前後方向に動かしてください。
ゲージが振れる場合は、フランジのロックナットに緩みが生じている可能性がありますので、プロペラシャフトを取り外してナットの締め付け状態を確認してください。



- フランジのロックナットを外した場合は、再使用しないでください。緩み防止のかしめを行う際にナットを変形させるため、変形した状態では適切な締め付けができない可能性があります。
- フランジのロックナットの締め付けトルクは、以下の通りです。

<プロペラシャフト>

プロペラシャフトの種類（参考）	ロックナットのサイズ	締め付けトルク
P20、P26	M27×1.5	539N・m (55.0kgf・m)
P30、P46	M30×1.5	539N・m (55.0kgf・m)
P60H、P60HS、P90L、P90LS	M33×1.5	686N・m (70.0kgf・m)
P90H、P90HS	M39×1.5	686N・m (70.0kgf・m)
P115H、P115HS	M45×1.5	1,078N・m (109.9kgf・m)

<フロント側プロペラシャフト（全駆車）>

締め付けトルク
539N・m (55.0kgf・m)

今月の配布物について

国土交通省より、「国土交通省における経営力向上計画の認定を受けた整備事業者の生産性向上等に係る取組事例」のチラシが配布されましたので、各工場において生産性向上等に係る取組事例の参考として活用下さい。

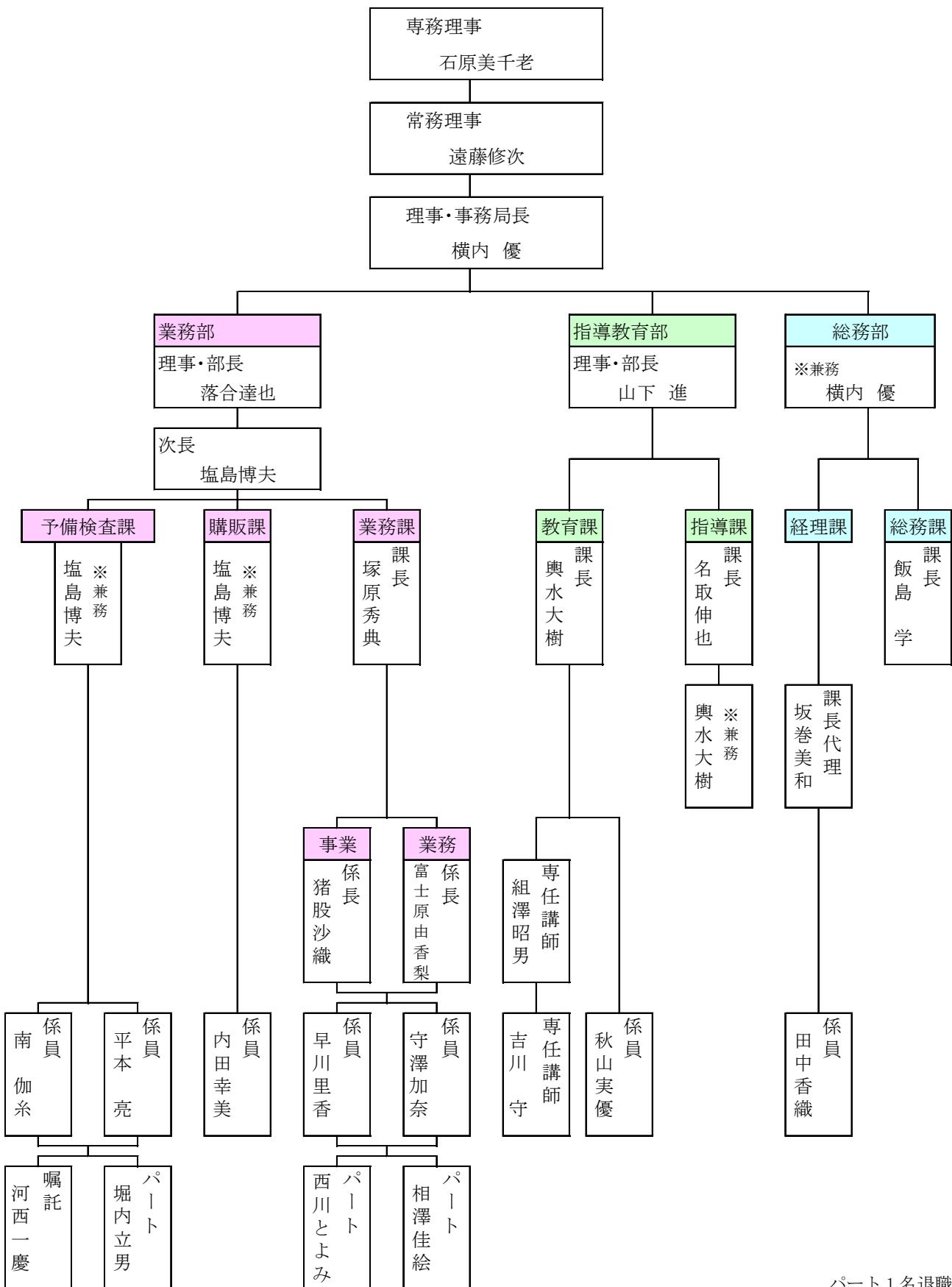
○国土交通省における経営力向上計画の認定を受けた整備事業者の生産性向上等に係る取組事例
のチラシ 各工場 1枚

国土交通省より、「タカタ製エアバッグ未改修車両を車検で有効期間を更新しない措置のユーザー説明用リーフレット」配布されましたので、各工場においてユーザー向け説明の際に活用下さい。

○タカタ製エアバッグ未改修車両を車検で有効期間を更新しない措置のユーザー説明用 リーフレット 各工場 2枚

事務局組織図について

令和4年4月30日現在



パート 1名退職